



御園台下の市道で発生した土砂崩れ。(7月10日撮影)

西日本豪雨、大竹に爪痕残す。

— 土砂災害で通行止め区間も —
 通行止め区間などは、市ホームページ「大竹市の道路交通状況」で、ご確認ください。
 ※ 西国街道(苫の坂〜木野)も通行できません。

被災地に給水応援

未曾有の被害をもたらした西日本豪雨。県内各地ではライフラインが破壊され、生活に支障を来しました。

7月11日、被害により断水となっている竹原市に、上下水道局の給水車が救援に向かいました。

1・8トンの水を積載した給水車は、平成28年に配備されてから初の災害応援給水となります。



竹原市に向けて給水車を派遣。

本庁舎で行われた出発式で、市長からの激励の言葉を受けて、多くの職員に見送られ第一陣が出発しました。

防災活動をけん引 地域防災リーダーに認定

問い合わせ
 総務課 ☎2119



消防団での経験がある4人に市長から認定証が手渡された。

地域の災害対策活動として今年度スタートした防災に対する知識や技能を持つ「地域防災リーダー」。

災害時には地域で住民の避難活動などを行い、日頃は地域住民への防災訓練や防災意識の啓発などを担ってもらう制度です。

7月9日、西日本豪雨災害の報道が続く中、初めてとなる防災リーダーの認定式が行われ、

市長から4人に認定証が手渡されました。

市長は「今回の豪雨でも200件を超える被害の情報が寄せられました。こういう災害時には、行政だけでは対応しきれません。地域で活動できるリーダーが必要ですよ」と期待を込めます。

今回認定された4人の方は、これまで消防団などで培った経験があり、リーダー育成のための研修の受講が免除されたものです。

認定されたうちの1人、田口明義さん(三ツ石町)は、「千葉県県の防災コーディネーターなどで活動してきました。これまでに得た知識を役立てたい」と話してくれました。

8月4日、5日は22人がリーダー研修を受ける予定です。

あじさいタクシー 御園台から発車オーライ

問い合わせ 地域公共活性化協議会 (自治振興課 ☎2142)

7月3日、御園台と晴海の「ゆめタウン大竹」を往復する「あじさいタクシー」の運行を祝い、御園台自治会館で出発式が行われました。

幹線交通となる「こいこいバス」に対し、支線の役割を担う乗合タクシーで、高台の団地の住民にとって待望の運行になると期待が寄せられます。

出発式で池田秋夫会長が「高齢化で運転免許の返納などで、買い物難民も発生しかねない。あじさいタクシーを長く利用していくためにも積極的に活用して、明るく住みやすい地域にしていきたい」と利用促進を呼びかけました。



住民らが第1便を見送った。

水を付けて！子どもの水を付けて！子どもの水の事故

問い合わせ 市消費生活センター ☎3236

浴槽に転落し溺れる事故

【0歳〜2歳】

・子どもが浴室に入ってしまった、浴槽をのぞき込み、転落し、溺れることがあります。

■事故を防ぐポイント

・入浴後は、浴槽の水を抜き、浴室には外鍵を付けて子どもが入れないようにしましょう。

ビニールプールやプールでの事故

【1歳以上】

・少しの間、大人が目を離した

ときに子どもが溺れてしまうことがあります。

■事故を防ぐポイント

・子どもは、深さ数cmの水でも溺れてしまいます。プールで遊ぶときは、必ず大人が付き添い、子どもから目を離さないようにしましょう。

海や川での事故

【2歳以上】

・子どもだけで海や川などで

遊ぶことがないよう注意しましょう。

・遊ぶときは浮き輪やライフジャケットなどを着用させ、必ず大人が付き添うようにしましょう。

・転落したり、溺れたりする危険がある場所がないか確認し、危険な場所でも子どもが遊ばないように注意しましょう。

(消費者庁「子どもを事故から守る！事故防止ハンドブック」より)

台風・荒天

そんなときは
バスの運行ルートが変わります。

問い合わせ 地域公共交通活性化協議会(自治振興課 ☎2142)
 市内を運行する「こいこいバス」、「大竹・栗谷線バス」、「坂上線バス」があります。台風や荒天時、事故や災害時などには運休や折り返し運行などをすることがありますので、ご注意ください。



変更は防災行政無線などでお知らせします

降雨量が基準を超えた場合の通行止め解除は、雨が上がり、道路管理者(県)がパトロールにより通行の安全を確認した後になります。

運行内容が変わるときには、防災行政無線や市ホームページなどで情報提供に努めます。ご不明な点などがありましたら、自治振興課または運行業者へ問い合わせてください。

問い合わせ

- 自治振興課 ☎2142
- 大竹交通(大竹・栗谷線バス、こいこいバス) ☎5141
- 大竹タクシー(坂上線バス、こいこいバス) ☎3131

高潮時は迂回ルートに

■こいこいバス
 台風などにより高潮の恐れがあるときは、小方港付近の市道にある「防潮扉」が閉まり、運行ルートの一部が通行止めになります。そのため迂回するルートになりますので「飛石港」バス停に止まりません。

折り返し運行に

■大竹・栗谷線バス
 降雨量が基準を超えたときは、県道栗谷大野線の一部が通行止めになるため、「渡の瀬」から「西医療センター」または大竹駅間を折り返し運行します。

■坂上線バス

降雨量が基準を超えたときは、国道186号の一部が通行止めになるため、「深瀬」から「大竹駅」間を折り返し運行します。

